

温かい 繋がる 支え合う 学び合う  
山梨 YMCA 岡島デイサービスセンター

# ぶどうの木

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネによる福音書15章5節



〒400-0031

甲府市丸の内1-21-26

甲斐物産ビル7F

Tel・Fax:055-235-5021

e-mail:grape@alto.ocn.ne.jp

ぶどうの木のご利用につきましては上記まで御相談ください。

## ぶどうの木では今 “ぶどうの木この一年”

ぶどうの木は、この7月、開設四周年を迎えました。多くの方々の祈りとご奉仕、ご利用の皆様やご家族の皆様に支えられ、四年目のこの一年も“発展”の方向で歩を進めることができましたことを深く感謝いたします。

この一年は、介護保険料は引き下げられ、ぶどうの木の運営は少々苦しくなりましたが、これまでの経験豊かな60歳代中心のスタッフに加えて、若さあふれる20歳代、40歳代のスタッフが加わり、バランスの良いケアを提供できるようになりました。しかし、何よりもぶどうの木が誇れる特徴は、ボランティアの皆様の直向きなご努力に支えられていることです。また、スタッフの仕事としての働きの他に自発的な無報酬の働きも加わり、ケアの内容や質を保ちながら歩むことができたことを感謝で振り返ることができます。この一年間にボランティアとしてご奉仕いただいた時間数は1450時間余、20名の方々によって担っていただきました。食事の準備や後片付けといった時間のご奉仕ばかりではなく、昼食にサラダやお浸しで彩りを添え食欲を助け、手作りおやつを持参して下さり、皆で舌鼓をうち楽しい語らいに話題を添えてくださるといご奉仕が続けられています。また、定期的に歌唱指導や手芸の指導にいらして下さり、楽しいひと時を提供して下さるボランティアの方々にも支えていただいています。ちなみに、この四年間に15号の「ぶどうの木ニュース」の発行を続けてこられましたの

は、スタッフの一人とその夫君によるご奉仕の賜物です。ぶどうの木へのご奉仕は、スタッフ・ボランティアに加えてそのご家族にも支えていただいているのです。感謝です。

一方、ご利用者のご負担(介護保険料自己負担分)は、これまで一律一割でしたが、自己負担二割となった方もあり、ご利用者の皆様にとりましても厳しい条件が加わりました。しかし、ぶどうの木にこの一年間に19名の方が新しく連なってくださいました。この4年間に73名がご利用くださったこととなります。最近では毎日14名～15名(一日定員15名)がご利用くださっています。開所以来4年間、ご利用を続けて下さっている方もいらっしゃいます。今ご利用中の方で利用日を増したいという方々には、お待ちいただく現状が出てきています。最近の高齢化の現状の厳しさに加え、病床数の削減が追い打をかけ、日常生活にご負担が増しても、ご自宅での生活を余儀なくされたり、高齢者住宅や老人福祉施設等への入居は自らは望まれず、最期までご自宅での生活を続けたいと願う方々のために、その生活の一部でもお支えできたらと願っています。

ご利用者が増し、少々手狭となったぶどうの木ですが、5年目の歩みを楽しく、豊かに続けていきたいと思えます。

管理者 小野興子

### ぶどうの木ギャラリー



皮革工芸絵画: 5/11～6/16

市瀬幸子さん(89歳 右上段):皮革に蝋けつ染めで花などを描いためずらしい美しい作品でした。

写真: 6/19～

進藤健一氏(左上段):ギャラリーを飾って下さるのは二回目、美しい風景には眼が奪われました。

宮辺家正氏(左下段):珍しい題材も取り入れられた芸術的センスの高い写真でした。



## よいケアを目指して

介護職員 露木 魁人

4月より山梨YMCAで働かせて頂いており、現在火曜日と木曜日にぶどうの木にお邪魔しています。

私は高校、大学時代と山梨YMCAの野外活動等の場でボランティアをしてきて、一度山梨を離れ広島YMCAに就職しました。ウェルネススポーツセンターにて働き、少して異動となって広島YMCA内のデイサービスで介護士に。当初は介護保険の「か」の字もよく知らず苦戦していましたが、子どもたちと一緒に遊んだ時の楽しさや、レクリエーションの面白さをアレンジしながら利用者さんと触れ合ってきました。毎日30人前後のご利用者がいらっしゃる大きなデイであったため、速さが求められる職場であり、きれいに丁寧に早くという介護技術を身に付けることができましたが、一方で一人一人にあったケアをできないものかと考えるようになりました。山梨に帰ってきてぶどうの木の雰囲気を感じた私は、「今までやって

来たことは介助であり、介護ではなかったのかもしれない。」と思いました。今までもまじめに、利用者さん第一のケアを考えてきたつもりですが、知識や技術、「レクで利用者さんを楽しませなければ」という気持ち、「早く介助を済ませて疲れが出ないようにしてあげなければ」という気持ちが先行して、気付けば介護をする上での心のゆとりがなくなっていたのです。ですが、初めてぶどうの木を訪れた際、利用者さんとのゆったりとした時間が流れていた部屋の空気を感じ、これが本当の寄り添うケアなのだと思ひに沁みましました。

私は未熟な青二才です。ですが、だからこそ今までこの経験にプラスして成長できると思います。温かく見守って頂けると幸いです。皆様これからもよろしくお願ひいたします。

ボランティアさん便り⑧

### ボランティアに参加して

有泉 百合恵

職場を退職して間もないとき、友人との会話で「三日ほど誰とも喋っていない。」と話したら「それは良くない。ぶどうの木でボランティアをしましょう！」の一言で始めさせていただき二年目に入りました。

月一回月曜日のお手伝いです。昼食、おやつ準備等に入ると家で漫然と過ごしてきたときは違い時間の過ぎることが早く程よい緊張の一日です。

合い間に利用者の方々と話すときユーモアもありほっこりします。「ボランティアは貰うことが多い」と聞いておりましたがまさに実感です。

小さな協力ができることがありがたく今後もどうぞよろしくお願ひいたします。

### ぶどうの木に通うことができ

萩原 美代子(ご利用者:佐野エコ様)

一人で外出のできた頃は、近所を散歩し、出会う人と立ち話をしたりできたのですが、一人で外出できなくなってからは、一日家にいてパジャマでベッドに横になり、テレビを観る生活を送っていました。ぶどうの木にお世話になるようになってからは、服を着替え、外出するという生活の変化が出て、家族以外との会話もでき、元気になったような気がします。

お風呂に入れて頂いて、マッサージをしていただくこと、おいしい昼食・おやつをいただくことが幸せと言っています。家族では気が付かないところまで目を配っていただいて、とてもありがたく思っています。車椅子でとても手の掛かる母を、ブドウ狩り、サクランボ狩り、お寿司屋さんでの食事、物産展への買い物など色々と外に連れ出させていただき、とてもありがたく思っています。

職員の方々のご苦勞に心から感謝しています。80歳を迎えられ、孫の結婚式にも出席でき、次々とできることが増えています。これからもずっとお世話になりたいと思っています。どうぞ、よろしくお願ひします。

### 若くないですが、ひよっこ運転手

樋口 貴夫

ご縁あって今年の2月よりお世話になっています。この5ヶ月仕事をする中で感じたことは、本当にいろんな方がいて、いろんな人生を送られて来たんだなあとということです。それにもまして感じたことは職員の皆様の利用者さんたちに対する接し方です。ご自分の家族と相對するように優しくされている姿には本当に頭が下がります。私にも90歳を超える両親がいますが、もっと優しくしてあげなければと、ちいさく誓いました。これからも安全運転を第一に心がけ、利用者の皆様と楽しい日々を過ごして行けるよう心がけて行きたいと思ひます。

### 第20回YMCAインターナショナルチャリティーランに参加協力!

6月10日、今年も障がいのある子どもたちを励まし、すべての人々と共に生きていきたいという気持ちを広げてゆくチャリティーランに、ぶどうの木も参加協力しました。



### さくらんぼ狩り



6月中旬に3回に分けて南アルプス市のさくらんぼ園

で楽しみました。枝から直接もぎ取って食べるのは最高と利用者さんは大はしゃぎ!

右の句は利用者・村田誠さんがその直後に詠まれたものです。

